

前年度評価シート 様式第M-2号

施設名	日野市立湯沢福祉センター				
指定管理者名	公益財団法人 社会教育協会				
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日	評価年度	3年目評価		
主管課	健康福祉部 高齢福祉課	評価者名(大日向)			
評価項目	評価基準	自己評価	主管課評価		
施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか。	A	A		
人体制	届け出された正規職員の業務責任者が常駐し、指揮命令が的確に行われていたか。	A	A		
	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか。	A	A		
	要員の就業時間記録があり確認できるか。	A	A		
	事業計画書に則った内容・頻度で教育・研修を実施したか。	A	A		
利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか。	A	A		
外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	—	—		
	外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか。	—	—		
記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか。	A	A		
I 実施体制の評価	点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか。	A	A		
	報告書提出 協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	A	A		
	地域等との連携 地域、関係機関、自治会等との連携は図れたか。	A	A		
	日常の安全確保 利用者の安全確保に関するマニュアルを整備し、社員に徹底しているか。	A	A		
危機管理	利用者の衛生確保に関するマニュアルを整備し、社員に徹底しているか。	A	A		
	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか。	A	A		
	避難経路は適切に確保されているか。	A	A		
	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか。	A	A		
個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されているか。	A	A		
	管理記録、個人情報利用状況について定期的に市に報告している。	A	A		
	個人情報等を目的外利用していないか。	A	A		
	個人情報の取り扱いについて社員研修を実施しているか。	A	A		
環境配慮	省エネルギー、省資源等について市が推進する環境への配慮がなされているか。	A	A		
情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか。	A	A		
書類の提出	協定書等に従い、情報を適切に管理しているか。	A	A		
その他	必要な書類、報告書等が期限までに提出されているか。	A	A		
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(23項目) うち S(0)、A(23)、B(0)、C(0)	A			
指定管理者自己評価	日報を作成し、月報・年報に取りまとめ、報告を行った。報告時には利用状況だけでなく、各種事業の実施状況や環境整備等の報告を行い、情報の共有を図った。感染症対策について最新情報を収集し、状況に合わせて具体的な対策を講じた。				
市(主管課)の評価	日報、月報や利用状況について毎月報告があり、施設の状況を共有できた。				

評価項目	評価基準	自己評価	主管課評価		
利用者対応	施設の予約や利用が公平かつ適切に実施されているか。	A	A		
誰でも利用できる配慮	言葉使い、態度、服装等の接遇はマニュアルが整備され適切であるか。	A	A		
	高齢者・障害者などに対する案内、サービスの工夫がなされたか。	A	A		
利用案内	点字・音声、ファックスによる案内等、様々な障害をもつ人への合理的な配慮がされているか。	A	A		
	ホームページは見やすく、適宜更新されているか。	—	—		
利用状況	利用方法を分かりやすく案内できているか。	A	A		
	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。	A	A		
II サービスの内容や水準の評価	利用促進に向け、PR活動などに積極的に取り組んでいるか。	A	A		
	事業計画書に則り、指定業務を実施しているか。	—	—		
	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか。	A	A		
	各事業の参加者数は、計画どおりであるか。	A	A		
事業の実施	参加促進への取組みを積極的に実施しているか。	A	A		
	苦情等の対応	A	A		
苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応し、その記録があるか。	A	A		
	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか。	—	—		
利用者への調査	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか。	A	A		
	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか。	A	A		
維持管理	日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。	A	A		
	備品台帳や貸出簿により記録が適切に保管されているか。	A	A		
	市と指定管理者の備品が明確に区別されているか。	A	A		
	必要な小規模修繕を適切に行い、市に報告しているか。	A	A		
その他	利用者への声かけなどコミュニケーションをとっていたか。	A	A		
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(18項目) うち S(0)、A(18)、B(0)、C(0)	A			
指定管理者自己評価	日常的な来館利用だけでなく、自主事業として開設している「ゆざわここからネット」との連携で事業を展開し、地域住民とのコミュニケーションを図った。近隣の公民館や児童館、包括と連携し、新たな利用の開拓を試みた。				
市(主管課)の評価	日頃から利用者とのコミュニケーションが十分にとれており、空調工事で一時使用できなくなる時もトラブルなくスムーズな運営ができた				

評価項目		評価基準	自己評価	主管課評価
III 収支等の評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか。	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか。	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか。	A	A
	予算執行	収支計画書に則り、適正に予算を執行しているか。	A	A
		収支計画と実施計画の整合は取れていたか。	A	A
	経費節減	経費節減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか。	A	A
	その他		—	—
【総括 III】				A
IV 目標管理の評価	指定管理者自己評価	施設使用料など適切な処理を行った。事業計画に基づいた修繕や施設の管理を行った。		
	市(主管課)の評価	施設管理、料金徴収、事業計画に基づく予算執行など基準に沿って行っていた。		

評価項目		評価指標／目標は達成されたか。	目標値	実績値	自己評価	主管課評価
目標①	施設利用件数前年比2%アップ	1882	1724	A	A	
目標②	施設利用人数前年比2%アップ	13083	13280	A	A	
目標③						
【総括 IV】	目標管理に関する評価(2項目) うち S(2)、A(0)、B(0)、C(0)					A
指定管理者自己評価	空調工事で一時使用できない部屋があったため、件数は目標を超えるが、利用人数は目標をクリアした。					
市(主管課)の評価	空調設備の更新工事により利用者数に影響が出たが、適切に運営を行っていた。					

V	【総合評価】	I ~IVの総括による総合評価 I(A)、II(A)、III(A)、IV(S)			A
---	--------	---	--	--	---

VI 特記事項	特に評価される点 市(主管課記載)	老朽化した施設を少ない予算で効率的に管理している点。
	改善が望まれる点 市(主管課記載)	改善が望まれる点は特に見当たらない。 今後とも引き続き、地域に密着した施設運営をお願いしたい。